

事業名	芸術文化の振興	評価実施者	所 属	社会教育課
			職・氏名	課長 竹谷和徳

主要事業の概要	開始年度	—		根拠法令等		社会教育法・文化芸術振興基本法											
	実施方法	☐ 直接		☒ 委託		特定財源		☒ 一般財源		☒ 補助金等		☒ 負担金					
	目 的	個性ある豊かな地域文化の実現と環境づくりのため、質の高い文化芸術を鑑賞する機会の拡大を図るとともに、地域文化活動を担う人材育成事業を展開し、子どもたちの誇りとなる芸術文化活動への環境を整備する。															
	事業内容	1. 「たきかわ文化村推進委員会」事業補助（ロビーコンサート、4つのワークショップ、成果発表） 2. 第15回「風がみつけた街」たきかわ音楽祭の支援（コスモス、プラタナス、アップルコンサート） 3. 演劇公演事業（「華々しき一族」滝川公演、松竹大歌舞伎滝川公演）・学校等でのアウトリーチ事業の支援（おんかつ支援アウトリーチ→第二小、江部乙中、関西中、明苑中） 4. 陶芸センターの充実した講座の運営と陶芸センターまつりの支援（陶工房の設立、協働による陶芸センターまつりの開催）															
事業費	区 分		19 年度		20 年度		21 年度		22 年度		23 年度		特 記 事 項				
	事業費(千円)		23,914		51,162		44,663		40,912		42,542		H22年事業補助なし、H23年地域づくり交付金				
	うち一般財源		17,841		46,385		39,063		39,479		41,442		3,000千円（札響、実行委員会へ）				
目標と実績	区 分			単位		H19		H20		H21		H22		H23		実績の評価	
	1	たきかわ文化村推進事業参加者数	目標								350	400	さまざまな表現活動の講座を実施。対象年齢も幅広く、継続が期待されるプログラムもできた。				
			実績	人	463	347	262	426	400								
	2	風がみつけた街たきかわ音楽祭来場者数	目標							900	1,200	運営もスムーズに行われ、教育音楽祭としての実績を重ねている。また、市民主体の音楽祭として定着している。					
			実績	人	890	687	869	1,150	1,200								
	3	鑑賞事業（観客入込割合）	目標							95	98	演劇やコンサートなど質の高い公演を実施。入場者数も満足のいくものであった。					
			実績	%	97	98	73	97	98								
	4	陶芸センター受講生	目標							150	150						
実績			人	184	118	156	178										

面項目		点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察									
1	必要性	9	市民ニーズや社会情勢に適合しているか					☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)					☒ 5	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
			・芸術文化の振興は、心の豊かさやゆとりのあるまちづくりの実現には不可欠である。文化芸術活動における地域間格差を縮めるために、地方でも質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供するための努力を怠らず進めてきたが、ニーズは適切であった。 ・芸術的文化活動を支える人材育成も必要であり、次代を担う子どもたちの芸術文化活動への参加や体験事業は、地域創造の公共ホール音楽活性化支援事業や文化省伝統文化こども教室の補助事業などを利用し、官から民へ主体的に取り組める事業は積極的に行い適切と評価する。									
2	有効性	9	目的に照らして効果的な手法であるか					☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
			成果が十分に上がっているか					☒ 5	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
			・手法については、質の高い芸術文化に触れる機会とそれらを支える人々の育成事業の目標水準は適切であったが、人材育成事業については、長期的な目標設定が必要である。 ・陶芸センターの民間移行に関しては、「たきかわ陶工房」への無償貸与を基本に検討を進めており、陶芸センターまつりなど市民主体の陶芸センター運営の準備が進められ成果として評価する。今後も自主的な活動を支援し業務の転換を行っていく。									
3	効率性	4	費用と成果のバランスは適正か					☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
			各種事業は、各種団体の補助金や助成等を受けながら実施し、官民協働による文化芸術施策を進めることができた。財政的に一般財源のみで文化芸術施策を進めるのは困難であるため、団体等との連携が必要であり、行政主体→官民協働⇄市民主体の体制の拡大を進めることができた。									
総合評価	合計	22	ランク (A～E)	事業の今後の方向性	陶芸センターは、滝川市では初めての民間への無償貸与での運営を目指している。行政・団体の情報共有と理解を図るための調整に取り組む。 芸術鑑賞等事業については、更に積極的な取り組みを進めていく。 施設の耐震化・老朽化による改修が早急に求められている。限られた財源で、どう施設を維持していくのか、市民意見を調整しながら方向性を決めることが必要。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☒ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持							
	↓	/25										
	100点換算	88										
		/100										

【評価点数】

5：十分にできている 4：できている 3：ほぼできている 2：あまりできていない 1：できていない

【総合評価ランク】

- A：86点以上
優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
- B：71～85点
優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
- C：56～70点
一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
- D：41～55点
成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
- E：40点以下
成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

面項目		点数	判 定						点検・評価に関するコメント	
1	必要性	9	①	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	・引き続き適切に進めて頂きたい	
			②	☒ 5	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1		
2	有効性	9	③	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1		
			④	☒ 5	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1		
3	効率性	4	⑤	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1		
			合計	22 /25	100点 換算	88 /100	ランク	A		